

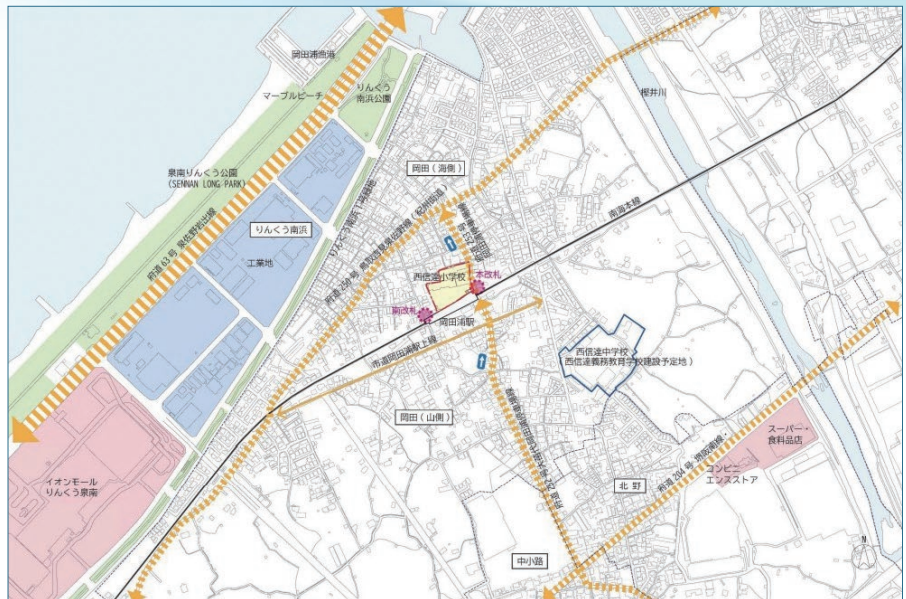


# 西信達小学校跡地活用による にぎわいづくり

～にぎわいが創出される生活拠点の形成～

泉南市は、都市近郊の農地や和泉葛城山系の自然環境、泉南りんくう公園に代表される海浜部の観光スポット、岡田漁港の海産物、熊野街道といった歴史的資源等、地域の資源を保全・活用しながら、4つの鉄道駅や市役所周辺を核として公共施設等の最適化を図り、都市機能や居住を誘導するとともに、自然環境と多様な都市機能が調和した土地利用により、生活利便性の高いコンパクトな都市構造の形成を目指しています。

公共施設等の最適化として、令和5(2023)年3月に策定した「泉南市立小中学校再編計画」の第1期で西信達中学校と西信達小学校を統合し、西信達中学校敷地等に(仮称)西信達義務教育学校を現在建設中です。現西信達小学校は、南海本線岡田浦駅に隣接していることから、同小学校移転後の跡地を有効活用することで、多世代間の住民が交流し、にぎわいが創出される岡田浦駅周辺地区の生活拠点形成を目指しています。



跡地整備イメージパース

## ■ 現況整理・想定課題

- 生活拠点の鉄道駅周辺等では、商業の活性化や交通結節機能の強化等が必要。漁港、歴史ある社寺、ハマヒルガオ等の花や自然を活用した観光の振興が必要
- 歩道・駅のバリアフリー化や通行しやすい生活道路の確保が必要。府道は道路幅員が狭く、一方通行であるため、道路の改良が必要。歩道が狭く、駅に送迎車両の駐車場所がなく不便。ハザード対策を踏まえた整備が必要
- 道路規模的に、コンビニ等の進出には難しく、道路の強化が必要。岡田浦駅の利用者数は少ないので、目的地となる施設配置による市民アクセス等の増加が必要

